

- 問1 世界各地で開催された博覧会の記録によると、1853年にニューヨークで世界博覧会が開催されていた時期、アメリカは日本に対しても東インド艦隊を派遣して強く開国を求めました。当時、アメリカが日本に対して港を開くよう求めた主な目的として、最も適切なものはどれですか。
(2024年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. ロシアの南下政策を阻止するため、日本をアメリカの保護国にするため | 2. 日本の豊富な金銀を安く買い入れ、欧米諸国との貿易決済に充てるため | 3. 北太平洋で活動する捕鯨船の補給地や、清との貿易の中継地点を確保するため | 4. キリスト教を広めるための拠点を日本に作り、寺社勢力を解体させるため |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--|--------------------------------------|
- 問2 幕末から明治維新にかけての歴史的出来事のうち、日米修好通商条約が締結された1858年より後であり、かつ薩英戦争の原因となった生麦事件（1862年）よりも前に起こった出来事として適切なものを選びなさい。
(2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|--------------------|-----------------------|--------------------------|
| 1. 大老の井伊直弼が暗殺された桜田門外の変 | 2. 渡辺崋山らが弾圧された蛸社の獄 | 3. 徳川慶喜が政権を朝廷に返した大政奉還 | 4. 諸藩の土地と人民を天皇に返還させた版籍奉還 |
|------------------------|--------------------|-----------------------|--------------------------|
- 問3 1860年代のアメリカで、リンカーン大統領が「人民の、人民による、人民のための政治」という演説を行った当時の、世界の歴史的な状況についての説明として正しいものはどれですか。
(2017年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. フランスで市民が絶対王政を打倒し、人権宣言を採択したフランス革命が最高潮に達していた。 | 2. 清において孫文らが中心となり、皇帝政治を倒してアジア初の共和制を目指す辛亥革命が起きていた。 | 3. コロンブスがスペイン女王の支援を受けて大西洋を横断し、カリブ海の島々に到達していた。 | 4. アメリカ国内で、工業化を進める北部と奴隷制を維持する南部の対立から南北戦争が続いていた。 |
|--|---|---|---|
- 問4 江戸時代の年表において、老中・水野忠邦が天保の改革を行っていた時期に、日本の对外政策に大きな影響を与えた国際情勢として最も適切なものはどれですか。
(2020年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--|--|---|
| 1. 辛亥革命によって清が倒れ、アジアで最初の中華民国が建国された。 | 2. 名誉革命によってイギリスで立憲君主制が確立し、議会政治が日本へ紹介された。 | 3. 南北戦争を終結させたアメリカが、太平洋航路の拠点として日本に開国を迫った。 | 4. アヘン戦争で清がイギリスに敗れ、東アジアにおける欧米列強の影響力が強まった。 |
|------------------------------------|--|--|---|
- 問5 1838年に誕生した人物が成長し、1867年に大政奉還の建白が行われるまでの幕末の動乱期において、政治的な出来事が起きた順序として正しいものはどれですか。
(2016年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 幕府が安政の大獄によって反対勢力を一掃した後に日米和親条約を締結して開港し、その数年後に薩摩藩と長州藩が協力して薩長同盟を結んだ。 | 2. 薩摩藩と長州藩による薩長同盟が結ばれた後、日米和親条約による開港が実現し、その後に幕府が反対派を抑え込むための安政の大獄を断行した。 | 3. 日米和親条約による開港が決定する前に薩摩藩と長州藩が薩長同盟を結成し、その軍事力を背景に安政の大獄と呼ばれる弾圧を幕府に行わせた。 | 4. 日米和親条約の締結による開港が行われ、その後、幕府に反対する勢力を弾圧した安政の大獄が起き、最終的に薩摩藩と長州藩による薩長同盟が結ばれた。 |
|--|---|--|---|
- 問6 1858年の日米修好通商条約締結後、日本は開国して本格的に諸外国との貿易を開始しました。この貿易において、最大の輸出港となった横浜から大量に輸出された品物と、その輸出が国内経済に与えた影響について説明したものと、最も適切なものはどれですか。
(2017年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 綿織物が大量に輸出されたことにより、国内の綿織物業が急速に発展し、農村が潤った。 | 2. 茶が大量に輸出されたことにより、国内で米の生産が放棄され、深刻な飢饉が発生した。 | 3. 金が大量に輸出されたことにより、国内の金銀比価が安定し、貨幣価値が高まった。 | 4. 生糸が大量に輸出されたことにより、国内で品不足となり、物価が急激に上昇した。 |
|---|---|---|---|
- 問7 1860年代の日本において、長州藩が関門海峡を通る外国船を砲撃したことへの報復として、イギリス、フランス、アメリカ、オランダの4か国が艦隊を派遣し、下関の砲台を破壊・占領した出来事を何といいますか。
(2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------------|--------------|---------|
| 1. 生麦事件 | 2. 四国連合艦隊下関砲撃事件 | 3. ノルマントン号事件 | 4. 薩英戦争 |
|---------|-----------------|--------------|---------|
- 問8 幕末の動乱期における大老・井伊直弼の政治的行動とその経緯について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 日米和親条約を結んで下田と箱館を開港し、鎖国体制を平和的に終結させたが、攘夷派の反対により失脚した。 | 2. 政権を朝廷に返す大政奉還を行うことで徳川家を存続させようとしたが、倒幕派の反発により戊辰戦争へと発展した。 | 3. 朝廷と幕府の結びつきを強める公武合体を推進したが、薩摩藩と長州藩が結んだ同盟によって江戸幕府を滅亡に導いた。 | 4. 日米修好通商条約の調印を強行し、反対派を安政の大獄で弾圧したが、その後に桜田門外の変で殺害された。 |
|---|--|---|--|
- 問9 1853年、アメリカがペリーを浦賀へ派遣し、日本に対して強く開国を求めた当時の歴史的な背景として、最も適切な理由はどれですか。
(2025年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. キリスト教を日本に広めることで、アジアにおけるアメリカの文化的影響力を強めたかったから。 | 2. 日本で産出される銀を独占的に輸入することで、世界的な銀不足を解消しようとしたから。 | 3. ロシアによる日本南下を防ぐために、アメリカが日本を軍事的な同盟国にする必要があったから。 | 4. 太平洋での捕鯨や中国との貿易のために、石炭や食料を補給する拠点を日本に確保したかったから。 |
|---|--|---|--|
- 問10 幕末の日本において、輸出用の品物が国内で不足したことに加え、金の流出を防ぐために幕府が貨幣に含まれる金の量を減らす「万延小判」への改鋳を行ったことで生じた、経済への影響として適切な説明はどれですか。
(2024年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 1. 海外から安い綿織物が流入し、物価が安定した | 2. 国内の産業が発達し、物価が大幅に下落した | 3. 貨幣の価値が下がり、物価が急激に上昇した | 4. 通貨の流通量が不足し、深刻なデフレとなった |
|--------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
- 問11 1854年、アメリカのペリーが再び来航した際に江戸幕府が締結し、静岡県の下田と北海道の箱館（函館）の2港を開くことを定めた条約は何ですか。
(2017年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|-------------|-----------|
| 1. 日露和親条約 | 2. 日米和親条約 | 3. 日米修好通商条約 | 4. 日清修好条規 |
|-----------|-----------|-------------|-----------|
- 問12 ペリーが浦賀に来航してから、大老の井伊直弼が日米修好通商条約を締結するまでの間の時期に行われた出来事として、最も適切なものはどれですか。
(2021年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 1. 日米和親条約を締結し、下田と箱館の2港を開港した。 | 2. 下関海峡を通過する外国船を砲撃し、攘夷を実行した。 | 3. 外国船を打ち払うことを命じた異国船打ち払令を発令した。 | 4. アメリカ領事のハリスが下田に着任し、貿易の開始を求めた。 |
|------------------------------|------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 北太平洋で活動する捕鯨船の補給地や、清との貿易の中継地点を確保するため	19世紀半ばのアメリカでは産業革命が進み、灯火用の油を得るための捕鯨が盛んに行われていました。また、巨大な市場である清（中国）との貿易も重要視されていました。しかし、当時の蒸気船は燃料の石炭や水、食料を大量に消費するため、長距離航海を支える中継港が必要となり、日本に対して開国と港の提供を強く求めたのです。
問2	答え 1 大老の井伊直弼が暗殺された桜田門外の変	桜田門外の変は1860年に発生しました。選沢肢にある蚕社の獄は1839年、大政奉還は1867年、版籍奉還は明治維新後の1869年の出来事です。条約締結後の政局の混乱の中で起きた事件であることを時系列で把握しておく必要があります。
問3	答え 4 アメリカ国内で、工業化を進める北部と奴隷制を維持する南部の対立から南北戦争が続いていた。	リンカーンの演説は、1861年から1865年にかけて行われたアメリカ南北戦争の途上で行われました。フランス革命は18世紀末（1789年～）、コロンブスの航海は15世紀末（1492年）、辛亥革命は20世紀初頭（1911年）の出来事であり、これらは時代や場所が異なります。リンカーンの演説が行われた背景には、バラバラになりかけた合衆国を民主主義の精神によって再び一つにまとめようとする強い意図がありました。
問4	答え 4 アヘン戦争で清がイギリスに敗れ、東アジアにおける欧米列強の影響力が強まった。	天保の改革が行われていた1840年代、東アジアではイギリスと清の間でアヘン戦争が勃発していました。この戦争で清が敗れたことは、当時の幕府にとって「アジアの大国であっても西洋の軍勢力には抗えない」という強い警戒心を抱かせるきっかけとなりました。これにより、幕府は国内の引き締め（改革）と同時に、外国船に対する慎重な対応を迫られることになり、幕末の動乱期へとつながっていきました。
問5	答え 4 日米和親条約の締結による開港が行われ、その後、幕府に反対する勢力を弾圧した安政の大獄が起き、最終的に薩摩藩と長州藩による薩長同盟が結ばれた。	1854年の日米和親条約締結によって長年の鎖国体制が終わって開港が実現しましたが、これに反対する尊王攘夷派の動きが激化しました。1858年から1859年にかけて大老の井伊直弼がこれらの反対勢力を厳しく処罰したのが安政の大獄です。この弾圧が幕府への不信感を高めることとなり、1866年に坂本龍馬らの仲介によって、かつて対立していた薩摩藩と長州藩が薩長同盟を結び、倒幕の流れが決定的となりました。
問6	答え 4 生糸が大量に輸出されたことにより、国内で品不足となり、物価が急激に上昇した。	開国後の日本において、生糸は最大の輸出商品となりました。しかし、生産が追いつかないほど大量に輸出されたことで、国内市場向けの生糸が不足しました。これにより、生糸を原料とする織物業が打撃を受けただけでなく、流通の混乱から全般的な物価上昇を招き、民衆の生活を圧迫しました。
問7	答え 2 四国連合艦隊下関砲撃事件	長州藩は攘夷（外国勢力を排除すること）を断行しましたが、列強の圧倒的な軍勢力を前に敗北しました。この経験により、長州藩は武力による攘夷が不可能であることを悟り、秘密裏に軍備を近代化させ、後の倒幕運動へと方針を転換する重要な転換点となりました。
問8	答え 4 日米修好通商条約の調印を強行し、反対派を安政の大獄で弾圧したが、その後に桜田門外の変で殺害された。	井伊直弼は、勅許（天皇の許可）がないまま日米修好通商条約に調印し、開国を断行しました。これに反対する勢力を「安政の大獄」で徹底的に排除したことが、幕府の権威を失墜させ、のちの倒幕運動へとつながる大きなきっかけとなりました。
問9	答え 4 太平洋での捕鯨や中国との貿易のために、石炭や食料を補給する拠点を日本に確保したかったから。	当時のアメリカでは産業革命が進展しており、機械用の潤滑油や灯火用の油を得るための捕鯨が盛んでした。また、巨大市場である中国（清）との貿易も活発化しており、太平洋を横断する際の石炭や水、食料の補給基地として日本の港を開放させることがアメリカにとっての最優先課題でした。
問10	答え 3 貨幣の価値が下がり、物価が急激に上昇した	開国後の日本では、輸出向けに生糸などの品物が買い占められたことで国内の物資が不足しました。さらに、金の流出を食い止めるために幕府が行った貨幣改鑄（貨幣の質を落とすこと）によって、貨幣そのものの価値が下落しました。これらの要因が重なったことで激しいインフレーション（物価の上昇）が発生し、庶民の生活は非常に苦しくなり、社会不安が増大しました。
問11	答え 2 日米和親条約	ペリーの来航を受けて締結されたこの条約により、日本は約200年続いた鎖国政策を終えて開国しました。この条約では、遭難した船員の救護や、船への薪水（燃料や水）・食料の供給を目的として、下田と箱館の2港を開くことが決められましたが、この段階ではまだ自由な貿易は認められていませんでした。
問12	答え 1 日米和親条約を締結し、下田と箱館の2港を開港した。	幕末の外交史における時系列の理解を問う問題です。1853年のペリー来航と1858年の日米修好通商条約の間には、1854年の日米和親条約の締結があります。この条約によって日本は開国しましたが、この段階ではまだ貿易は行われていません。ハリスの下田着任は日米和親条約締結後の1856年であり、その後の交渉が日米修好通商条約へとつながります。異国船打払令はペリー来航より前の時代、下関での攘夷決行は条約締結より後の出来事です。